教材リサーチⅡ

第12講 「授業をデジタルアーカイブする」

久世 均(岐阜女子大学)

【目的】

日本の授業のみならず具体的に諸外国の授業をアーカイブ化し,長期保存を考えデジタルアーカイブ手法による関連教育資料の構成について考える.

【学修到達目標】

■ 授業分析に必要な教育資料の構成について説明できる.

■ 授業分析手法について具体的に説明できる.

【授業者用】	授業評価シート					
		実施日:平成	年	月	日 (
				年	組	ŧ
		授業者:				
教科:	学習単元 (題材):「				J	
<ねらい、指導上の留意点>						

4 (そう思う) →3 (ややそう思う) →2 (あまり思わない) →1 (思わない)

項目	No.	評価項目		評価	i状液	!	No.
授業の準備・	1	児童の理解度に応じた教材(資料・プリント)を工夫した。	4	3	2	1	1
教材の工夫	2	予想される反応を考え、それに対応した手だてを準備した。	4	3	2	1	2
授業の充実	3	基礎的な知識・技能の確実な定着が図れる学習活動を展開した。	4	3	2	1	3
	4	児童の学習意欲を喚起する学習活動を展開した。	4	3	2	1	4
授業の進め方	5	授業の最初に、本時のねらいを示し、授業の最後に本時の内容を確	4	3	2	1	5
		認した。					
	6	学習活動を把握し、理解度に応じた授業の進め方ができた。	4	3	2	1	6
	7	児童の発言や発表など、児童自らが考えた内容を取り上げた授業が	4	3	2	1	7
		できた。					
児童主体の授	8	児童一人ひとりが積極的に授業に参加できる場面が用意できた。	4	3	2	1	8
業の工夫	9	自ら考えたり、自ら取り組んだりする主体的な学習活動の場を設定	4	3	2	1	9
		した。					
説明の	10	児童の理解度に応じた説明や指示をした。	4	3	2	1	10
分かりやすさ	11	端的でポイントを押さえた説明をした。	4	3	2	1	11
	12	学習の流れや関連、ポイントがよく分かるようにした。	4	3	2	1	12
児童への	13	良い点をほめるなど、学習意欲の向上につながる対応に取り組んだ。	4	3	2	1	13
接し方	14	机間指導で一人ひとりの学習状況の把握に努めるとともに、支援に	4	3	2	1	14
		取り組んだ。					
児童の	15	児童は内容を理解しようと取り組んでいた。	4	3	2	1	15
学習状況	16	児童は自分自身で考えるようにしていた。	4	3	2	1	16
	17	児童の取り組みの様子から、内容をおおむね理解したと捉えられる。	4	3	2	1	17

<自由記述>	世金の白む - や	占や改善が望まれ	エキドハンナ
<日田記述>	付革(/) 見かった	見や収率が発まれ	る具について

授業アーカイブのための関連教育資料

【児童用】	授業評価シート					
		平成	年	月	日 ()
	年 組 番号	名前[]
教科:	学習単元 (題材):「				J	

4 (そう思う) →3 (ややそう思う) →2 (あまり思わない) →1 (思わない)

項目	No.	評価項目		評価	狀況	1	No.
授業の進め方	1	今日の学習の「ねらい (目標)」に対する説明があった。	4	3	2	1	1
	2	クラス全体の学習状況に応じて進められる授業だった。	4	3	2	1	2
	3	児童の発言や発表など、児童自らが考えた内容を取り上げてくれる	4	3	2	1	3
		授業だった。					
児童主体の	4	児童一人ひとりが積極的に参加できる授業だった。	4	3	2	1	4
授業の工夫	5	自ら考えたり、自ら取り組んだりできる授業だった。	4	3	2	1	5
説明の分かり	6	児童の理解度に応じた説明や指示があった。	4	3	2	1	6
やすさ	7	端的でポイントを押さえた説明があった。	4	3	2	1	7
	8	学習の流れや関連、ポイントがよく分かる板書だった。	4	3	2	1	8
	9	先生が用意した教材・教具は学習に役立った。	4	3	2	1	9
児童への	10	良い点をほめてくれるなど、認めてくれた。	4	3	2	1	10
接し方	11	授業の中で一人ひとりの状況に応じたアドバイスをしてくれた。	4	3	2	1	11
自己	12	内容を理解しようと取り組んだ。	4	3	2	1	12
学習状況	13	自分自身で考えるようにした。	4	3	2	1	13
	14	予習して授業に臨んでいた。	4	3	2	1	14
	15	復習して授業に臨んでいた。	4	3	2	1	15

○近のことについて 目体的に記えしてください

むずかしか	ったところ>			
自由記述>	授業についての感想や要望な	الإ ع		
	24,741			



図3 多視点授業映像記録



図4 授業者インタビューの様子



図11 英国の授業

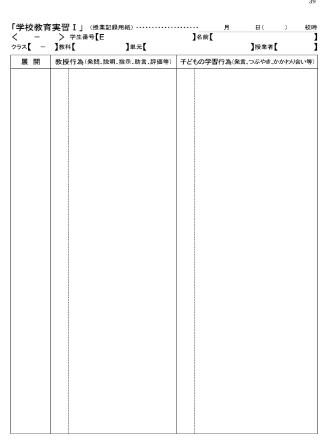


図5 参観者の観察記録

	行動	分析											
				į	教師の活動	t	児童の活動						
	晶面/	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5
A Li	過時間	説明場面	指示場面	確認場面	発問場面	板書場面	支援場面	その他の 場面	思考場面	発表場面	発問への応 答場面	自主的な質 問場面	その他の 場面
0	0												1
	5		1										1
	10			1									1
	15			1									1
	20	1											1
	25					1							1
	30					1							1
	35					1							1
	40	·	1										1
	45	1											1
	50				1								1

図 6 行動分析

		S	T分标	折						
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00
0	Т	Т	Т	Т	Т	Т	Т	Т	Т	Т
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00
1	Т	Т	Т	S	S	S	S	S	S	s
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00
2	S	S	S	S	Т	S	S	S	S	s
							S	S		
								•		

図7 S-T分析

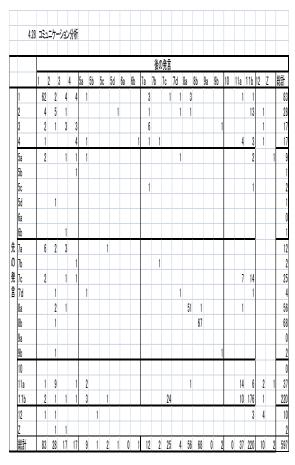


図8 コミュニケーション分析

ジェ	スチャー動作のカテゴリー	5	5]	10 1	5 2	0 2	5 3	38	5 4	0 4	5	総数	%
倣動作	人や物の動きや形を模倣する	//	/			/			/		/		
		2	1			1			1		1	6	6.1
示動作	眼前にある物あるいは人を指す			//	///	/	///	///	//		/		
				2	3	1	3	3	2		1	1 5	15.3
態動作	人や物のようすを表す												
字動作	数を示したり、数えたりする												
調動作	語句や文節を強めたり、聞き手					/		/					
	に同意や確認を求めたりする					1		1				2	2.0
演・資料	実物・資料の提示やそれらを使	///				//	/	/			/		
明動作	った説明をする	3				2	1	1			1	8	8.1
板説明	板書の一部を指し示す	///////			//	///	/				/		
作		7			2	3	1				1	1 4	14.2
1 77 451 164	III A A A II II III A II II II II II II		////	//////	//////	///////	//////	///	/////	//	///		
]意動作	児童の意見に同意する動作		4	6	6	7	6	3	5	2	3	4 2	42.8
考動作	教師の考えている動作			1	//		/	//	/		//		
				1	2		1	2	1		2	9	9.1
	その他の動作		/			/							
			1			1						2	2.0
数		12	6	9	13	16	12	10	9	2	9	98	
		12.2	6.1	9.1	13.2	16.3	12.2	10.2	9.1	2.0	9.1		

図9 ジェスチャー分析

活	16h	原簿	表					
- 74		m n	_					
教 材		第6学年	道徳	尊敬・感謝	『おじいさんのあたたかな目』	2010年 1月 26日		
時 分	秒	T(先生)	S(児童)	S(児童 発)	行動記録メモ	行動記録メモ	主体	本者
0	0	T2	S5a		「はい、始めましょう。ちょっとそこ机しっかり下げて」児童 の机に近づく		Т	
	5	T1	S3d		机を整える「今日は教室がきれいだよね、みんな」	机を直す 笑う	T	
	10	T5a	S3d		「いつもと同じで」	「今日は」笑う 黒板を見る	Т	
	15	T2	S5a		「はいじゃあ、え一道徳の勉強を始めます」	先生の動きや黒板を見る	Т	
	20	T1	S5a		「今日の資料の名前は」板書をする	同様	T	
	25	T1	S5a		板書をする	同様	Т	
	30	T2	S5a		「はい、一回読んでください」	同様	Т	
	35	T5b	S3a		「はい」	「おじいさんのあたたかな目」		S
	40	T1	S4c		「えー、今日の主人公は『ぼく』です」紙を貼りながら	笑う	Т	
	45	T3	S3a		「名前は、読めるかな、みんな」	「裕二」		
	50	T1	S3a		「あ、裕二くんです。いいですか」	[ばい]	Т	
	55	T3	S3a		「で、後は、読めるかな。おじいさん」 紙を貼る	「読める一」	Т	
1	0	T1	S3a		「おじいさんも出てきます。いいですか」「はいじゃあ、資料配ります」	「はい」	Т	
	5	T5a	S5a	S1a	②「あ、うん。そうそう。」	①S1「『ぼく』と『裕二』は同一人物?」		S発
	10	T1	S5a		「えーとね、資料は僕しか、『僕は』ってなってるんだけど、『僕』 の名前は裕二君だから」	話を聴く	Т	
	15	T3	S3a		「いいですか」「同一人物」	「はい」	T	
	20	T1	S7		プリントを配る「はい」	-		
	25	T1	S7		同様			
	30	T1	S7		声色を変えながら「どうぞ」			
	35	T1	S2a		同様	配られた児童から読み始め線を引く		
	40	T5c	S5a	S1c	「どうぞ」一同笑う	S2「ありがとう」		
	45	T1	S2a		準備	各自読む		
	50	T1	S2a		同様			
	55	T1	S2a		同様			
2	0	T1	S2a		同様			
	5	T1	S2a		同様			
	10	T3	S3a		「いいですか」	「はい」	Т	
	15	T2	S5a		「いつもと一緒」 紙を貼る 「分かるな、すごいな、どうしてだろう、ね、この気持ちをみんなで考えたいと言うところに線を引っ 張ってください」		Т	
	20	T2	S3a		「いっこく/に合い」	「はい」	Т	

図10 逐次発言記録(共通記録)

授業アーカイブのための関連教育資料

図12 授業分析のための活動原簿

表

活動原簿表

<u>数 材 drama</u> 2010年 2月 26日

時 分	秒	T(先生)	S(児童)	行動記録	录メ モ T	行動記録	禄メモ S
0	0	4		Focus on the coin. Anybody can			
U	U			start now .	すよ、はい。		
	5		7c			One Two Three	- I I
	10		7c			Four Five	四五
	15		7c			Six Seven Eight Nine	六七八九
	20		7c			Ten Eleven Twelve Thirteen	+ +- += +=
	25		7c	Ahhhhh! Good.	あー! いいでしょう。	Fourteen Fifteen Ahhhhh!	十四 十五 あー!
	30	5с		That was good. Clap your hands. Come on. (clap) Very good. So, fifteen.	良かったですよ。 拍手して。 さあ。 (拍手) よく出来ました。 十五ですね。		
	35	1		I'll take fifteen. I'm going to add one thing else, now, to that.	十五ならいいでしょう。 今からこれにもう一つ(ルールを)加えま しょう。		
	40	1		If, Karis says a number, and then, you are not able to say one, neither is Mellisa.	カリスが数を言った場合、(右隣の)あなたも、メリッサ(左隣)も、両方とも言うことができません。		
	45	3		So, it's got to go across all the time. Yes?	つまり、常に向かい側の人に行くことになります。 いいですか?		
	50	5c		Because, if, if somebody besides you says, and then you have to go. But, fifteen is good.	でも、十五はいいですね。		
	55	2		It means that we've got four goes and we want to hold it up. All eyes on the coin One!	あと4回チャンスがあります。この調子で やりましょう。 みんな、コインを見て・・・ ー!		

領域の説明(VICS)

データの個数/先	後の発言 1 2 3 4	5a 5b 5c 5d	6a 6b 6c	7a 7b 7c 8a 8b 9a 9b 10a 1	106 110 116	12 Z 総計
<u> 元の発言</u> 1	1 2 3 4	3a 3b 3c 3d	0a 0D 0C	7a 7b 7c 8a 8b 9a 9b 10a	<u>IUDIIIA IID</u>	105
2						89
3	Α	В		C		39
4						12
5a						5
5b 5c		E	F	G		62
5d	D	_	•			9
6a						3
6b		Н	I	J		1
6c						3
7a						[] 20
7b 7c						17
8a						0
8b	K	l I	М	N	0	258
9a	'`	_	141			0
9b						0
10a						0
10b 11a				_		0 8
11b	Р	Q	R	S	T	
12		<u> </u>		1		
Z				J		0
総計	104 89 39 12	5 9 63 9 🗵 1 4	3 <u>13</u>	20 17 43 0.258 0 0 0 0 Cおける領域の抽出	0 8 0	1 0 684

データの個数/先		の発言		_		-	-	-	•	01	•		7.	_	^	01	^	Δ1	40	401		441		-	6N.E.I
先の発言	1	2	3	4	5a	5b	5c	5d	6a	6b	6c	7a	7b	7c	8a	8b	9a	9b	10a	10b		11b	12	Z	松計
1	57	21	5	3		1	8					3		2		4					1				108
2	13	23	8	2	1	1	13				1		\	13)	12					1				89
3	6	2	8			1	5					12	2			3									38
4			1	1								2	7	1											12
5a		1	1																		3				
5b	1	2	1		1	1	2									1									9
5c	\equiv	19)	3	2		2	8						1	4		9					3				62
5d	1	2	1	1			1		1				2												(
6a	1								2																3
6b		1																							1
6c		1					1				1														3
7a	3	2	3	1			1	6				3	1												20
7b		1	3	1	1	1	3	2					3	1									1		17
7c	2	2	3	1			12			1	1			21											43
8a																_									(
8b	9	8	2			1	8							1		229)								258
9a															\	_	/								(
9b																									(
10a																									(
10b																									(
11a		4			1	1	1	1																	8
11b																									(
12					1																				
Z																									(
計	104	89	39	12	. 5	9	63	9	3	1	3	20	17	43	n	258	0	0	0	0	8	0	1	0	684

図13 授業分析結果

<u>カテゴリ</u>	ー・システ	<u>テム</u>				
	教師の	1 <u>‡</u>	是示			
自発	殺励の始めた		旨示			
		3 t	ままい賃			
	会話	4 [ない質問	問		
				5a	アイデア	
	教師の 反応	5	巫嫐	5b	行動	
		5	受容	5c	感情	
応答				5d	視聴	
				6a	アイデア	
		6	拒否	6b	行動	
				6c	感情	
				7a	対 教師	予測可能
		7	反応	7b		予測不能
		′		7с	対 児童	
				7d	感情	
応答	児童の	8	活動	8a	個人	
心音	反応	0	/白 到	8b	グループ	
		9	視聴	9a	対 教師	
		9	7九4芯	9b	対 児童	
		10	拒否	10a	対 教師	
		10	72 0	10b	対 児童	
自発	児童の始	11	発言	11a	対 個	
一 元	めた会話	' '	九 百	11b	対 全体	
21	7.0.1h		沈黙			
その他		Z	無関係			

図15カテゴリー

領域の説明	
Α	情報や意見の提示、指示、質問など教師のはじめの発言。教師が長い間はなし続けていることが特徴。教師と生徒間の相互作用を示す領域ではない。
В	教師のはじめの発言に受容か拒否に入る。教師の応答としての発言が続いていることを意味している。
С	教師のはじめの会話に続く生徒の会話すべての会話が含まれる。
D	教師の応答としての発言に続いて、教師のはじめの発言がなされている。
E	教師の受容行動の継続を示す。アイディア、行動、感情の広範な受容と、これらの言語的なパターンのいずれかから他のパターンへの移行も含まれる。
F	教師の受容行動に続いて、教師の拒否行動が生じている。
G	教師の受容的発言に続く生徒の発言を示す。
Н	教師の拒否行動に続いて、教師の受容行動が生じている。
I	教師の側の広範囲にわたる拒否行動が含まれる。アイディア、行動、感情の拒否と、これらの行動のいずれかから他のパターンへの移行も含まれる。
J	教師の拒否的な発言に続く生徒の発言すべてが含まれる。
К	生徒の応答行動に続いて、教師のはじめの行動を指す。
L	生徒の応答に、教師の受容が続いている。
М	生徒の応答を教師が拒否している。
N	教師、あるいは他の生徒に対する生徒の広範な応答、または活動を示す。
0	生徒の応答発言に生徒のはじめの発言が続いている。
Р	生徒のはじめの行動に教師のはじめの行動が続いている。
Q	生徒のはじめの会話に続いて、教師の受容がなされる。
R	生徒のはじめの会話に対する教師の拒否を示す。
S	生徒のはじめの発言に続いて、生徒の応答としての発言がなされている。
Т	教師あるいは他の生徒に向けての生徒のはじめの発言が含まれる。
U	沈黙か混乱を表す領域。

図16 領域の説明

課題

- 1. 授業分析に必要な教育資料の構成について具体例を挙げて説明しなさい.
- 2. 授業分析手法について具体的に説明しなさい.
- 3. 英国の授業分析を授業アーカイブプロジェクトの例に 倣って、行ってみなさい.

【目的】

日本の授業のみならず具体的に諸外国の授業をアーカイブ化し,長期保存を考えデジタルアーカイブ手法による関連教育資料の構成について考える.

【学修到達目標】

■ 授業分析に必要な教育資料の構成について説明できる.

■ 授業分析手法について具体的に説明できる.

教材リサーチⅡ

第12講 「授業をデジタルアーカイブする」

久世 均(岐阜女子大学)